



国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2025-2026 年度 2697 回例会 12 月 17 日

地区ガバナー 稲葉 雅之 クラブ会長 近藤 徹

本日のプログラム

- 年忘れ家族会
- 2696 回例会報告
- 地区大会参加

稲葉ガバナー挨拶



本日は、国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度地区大会に、多くのご来賓の皆様をお迎えし、このように盛大に開催できますことを、心より嬉しく思い、厚く御礼申し上げます。

特に、国際ロータリー会長代理として、台湾よりお越しくださいましたパストガバナー Wcn・Li Chiu (邱文麗) 様が、ご多忙の中、遠路はるばるお越しいただきましたことは、地区会員一同の大きな励みであり、国際ロータリーの絆を象徴するものであります。

そして、お父上でありパストガバナーとしてご活躍されている Computer(邱秋林) 様にもご臨席賜りましたことも含め、私たちにとりまして大変な喜びであり、深く感謝申し上げます。

本年度 RI 会長フランチェスコ・アレツォ氏の会長メッセージは「UNITE FOR GOOD- よいことのために手を取りあおう」です。

世界情勢はますます複雑化し、先行きの見えない時代が続いております。分断や対立を生む風が吹き、互いの理解が追いつかず、未来の展望が揺らぎ続けています。今だからこそ、私たちロータリアンは立ち止まらず、考え、行動し、手を取りあう勇気が求められていると強く感じております。

そのために本地区では、大会テーマを「The First to Act— Rotarians— (ロータリアンからはじめましょう)」と決めました。「相手が動くのを待つのではなく、まず自分から一歩を踏み出し、手を差し出す」ロータリアンの誇るべき精神を改めて行動に移す時です。

私たちは、地域社会に寄り添い、他の文化や価値観へ理解を深め、違いを尊重し、多様性を力へと変えていく時代を迎えております。それぞれの思いが響き合い、互いの持つ可能性を認め合う時、奉仕は大きな力へと育ちます。その力こそが、平和への道を照らす光になると信じております。

さて本大会の舞台は、歴史と品格が息づく伊東市・川奈ホテル、東京オリンピック自転車競技のレガシー伊豆市・ベロドローム。クラシックとレガシーが織りなす空間において、時代を超えて語り継がれる大会となることを願っております。

【1 日目】指導者育成セミナーでは、第 2840 地区パストガバナー田中久夫様をお迎えし、「ロータリアンに期待すること」をテーマに、未来のクラブを支えるリーダーが何を思い、いかに行動すべきかをともに考えます。

【2 日目】記念講演では、国際政治学者 三浦瑠麗様をお迎えし、「反動の時代にどう向き合うか」という視点から、ロータリークラブの使命を見つめ直す機会となります。

本大会は、伊東西ロータリークラブの実行委員会をはじめ、静岡第一グループの皆様が、不慣れな中でも手を取りあい、知恵を絞り、心を注ぎ、創意工夫を重ねて準備をしまりました。その熱意と団結に対し、心から敬意と感謝を表します。

今大会の出会い、学び、気づきが、皆様の胸に新たな情熱を灯し、クラブの活性化へと結びつき、それが地域と世界に希望と平和をもたらす一歩になることを祈念いたしますと共に、皆様にとりまして、有意義で感動の溢れる地区大会となりますことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。



●幹事報告

1. 本日も米山寄付 12,000 円、財団寄付・ポリオプラス合わせて 180 ドル (28,080 円) をお預かりします。
年内のお預かりは本日が最終となりますのでご承知おきください
2. 本日例会が年内最終例会となります。次回例会は 1 月 7 日 (水) 山梨縣護国神社での新年祈願例会で、点鐘は 12 時 30 分です

●他クラブの例会変更

- 甲府東 RC 12 月 12 日 (金) 点鐘：18 時 30 分 場所：ネオス・ミラベル
年忘れ家族会のため夜間例会に変更
12 月 26 日 (金)→12 月 21 日 (日)
点鐘：10 時 30 分 場所：はくばく文化ホール
ほかほかマルシェへ参加のため